



「はな街道」笑顔で育てる人とまち



夏のお花へ植替えのお知らせ

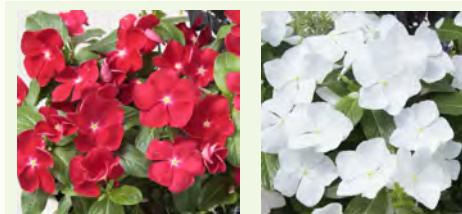


今年の夏花はニチニチソウをメインに植えます。例年のサルビアと雰囲気の違う花壇をお楽しみください。切り戻しをするとボリュームアップして花もたくさん咲きます。ご協力を宜しくお願い致します。

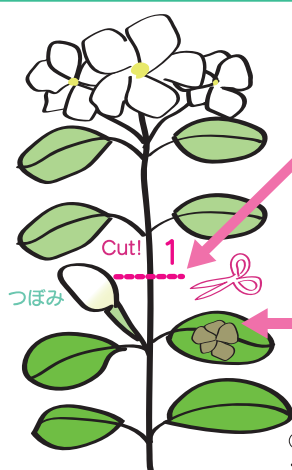
● 植替時期：2023年5月20日～27日

ニチニチソウ（日々草）

- 学名：Catharanthus roseus
- 別名：ピンカ
- 分類：キョウチクトウ科 ニチニチソウ属
- 園芸分類：一年草
- 原産地：マダガスカル
- 花期：5月～11月
- 花の色：白、赤、ピンク、紫、複色（今回は赤と白を植えます）
- 特徴：ニチニチソウは、マダガスカルを中心にインド、スリランカに約8種が分布する植物です。マダガスカルに分布するロゼウス種(Catharanthus roseus)を中心に品種改良された園芸品種です。亜熱帯気候の高温多湿の地域が原産の植物なので、日本の夏に育てやすく、夏を彩る代表的な植物です。
- 花言葉：「楽しい思い出」「友情」「生涯の友情」
- 由来：学名の由来は、ギリシア語で「純粹」を意味する「Katharos (カタロス)」と、花を意味する「Anthus (アンサス)」とを結びつけてつけられたとされる。和名は初夏から秋まで次々に新しい花を咲かせ、日々花が絶えないことに由来。



ニチニチソウの 花数を増やすポイント！ ○切り戻し作業○



○花数を増やすための切り戻し作業○

- ・草丈の2/3残したぐらいの高さで切ります。
※図の1→ツボミがある上の位置
- ・切った場所の茎、右側と左側から新しい葉が出ます。
- ・その葉の茎が伸びると、葉の数が増え、ボリュームアップした姿になります。葉の数が増えると、花の数が増えます。
- ・葉の上に、咲き終わった花が乗ったままだと、病気になるようになります。(雨や水に当たって、葉の上で腐りだすと、そこから病気になるやすい) ホウキなどで、掃き掃除をすると長く、健康的に育てることができます。

○肥料：(はな街道にて実施します)
・夏の間中花を毎日咲かせる植物です。栄養が行き渡る様、粒タイプの肥料を施します。

資料監修：SIORI SUGII はなぐみ



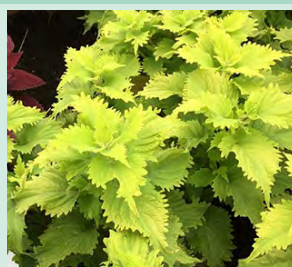
夏から秋まで楽しめる実験花壇のご案内

ニチニチソウ花壇の他に、夏から秋まで実験花壇を設けています。昨年植えたアンゲロニア・コリウスワサビを植える予定です。どうぞお楽しみに！



アンゲロニア

暑さに強く、長雨にも耐え、病害虫に強い植物です。



コリウスワサビ

1本茎を切ると2本に茎が増えるクセがあります。草丈の半分ぐらいの高さで切ります。切った場所の茎、右側と左側から新しい葉が出ます。

花壇情報



日差しが強い日が多くなり花壇が乾燥しています。水やりをよろしくお祈いします。



NPO 法人 はな街道

Mail.info@hanakaido.info

TEL.03-3664-8741
FAX.03-6231-0936

(かわら版担当：事務局 中島 望)



花壇のお花情報
携帯にて読み込んで頂き
ますと花壇のお花情報を
ご覧頂けます。